

# 図を使って考えよう「わからない数」のある たし算とひき算のやり方

## 図をつかった たし算

「図をつかった たし算」とは、どういうことかという、

- ・文を 図であらわして、
- ・「わからない数」を □にして たし算の しきを作る

ということだよ。

たとえば、つぎの 文を 見てみよう。

みかんが 18こ あります。  
何こか 買ってきたので、  
ぜんぶで 32こに なりました。

まず、この文を 図で あらわしてみるよ。

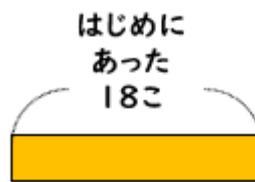
ただ、この文には 「わからない数」 があるよね。

そう、「買ってきた みかんの数」がわからないよね。

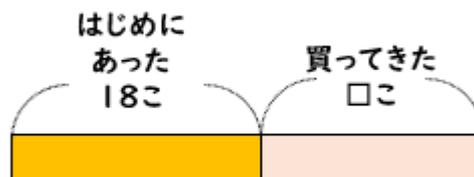
この、「わからない数」である 「買ってきた みかんの数」を 「□こ」にしたよ。



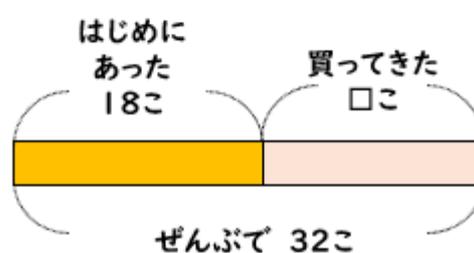
みかんが 18こ あります。



どこか 買って来たので、



ぜんぶで 32こに なりました。



いちばん 下の 図に ちゅうもくしよう。

「はじめにあった 18こ」と「買って来た □こ」をたしたものが「ぜんぶの 32こ」だね。

□を つかった しきを 作ると つぎのようになるよ。

$$18 + \square = 32$$

文を 図にして、

□を つかって しきを つくると、文の通りに しきを 作ることが できるんだ。

せっかく しきを 作ることが できたから、□に 入る 数をもとめて みよう。



$18 + \square = 32$  ということは、

「18に  $\square$  を たすと 32 になる」よね。

$\square$  に 入る 数を もとめるには、

32から 18を ひけばいいから、

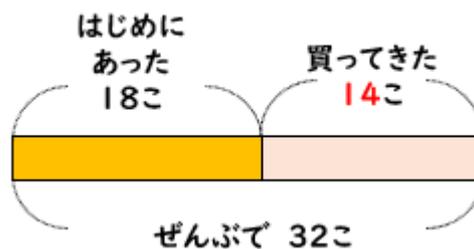
$$32 - 18 = 14$$

$\square$  は 14だとわかるね。

答え：14こ

下の図で「買ってきた 数」が14こ とわかったよ。

18と 14を たして 32に なっていることを かくにんしておこ  
う。



## 図をつかった ひき算

こんどは、ひき算の しきを つくってみよう。

みかんが 何こか ありました。  
8こ 食べたので  
のこりは 14こに なりました。

まず、この文を 図で あらわしてみるよ。

ただ、この文にも 「わからない数」 があるよね。



「はじめにあった みかんの数」がわからないよね。

この、「わからない数」である 「はじめにあった みかんの数」を 「□こ」にしたよ。

みかんが 何こか ありました。



8こ 食べたので、



のこりは 14こに なりました。



いちばん下の図に ちゅうもくしよう。

「はじめにあった □こ」から「食べた 8こ」を ひいたものが「のこりの 14こ」だね。

□を つかった しきを 作ると つぎのようになるよ。

$$\square - 8 = 14$$

わからない数を □を つかって しきを つくると、文の通りに しきを作ることができるね。



しきを 作る事が できたから、□に 入る 数を もとめてみよう。

□ - 8 = 14 ということは、  
「14に 8を たすと □ になる」よね。

だから、  
14 + 8 = 22  
□は 22だとわかるね。

答え：22こ

下の図で「はじめにあった 数」が22ことわかったよ。  
8と 14を たして 22に なっていることを かくにんしておこう。



## 図をつかった たし算とひき算の れんしゅう

公園で 12人が あそんでいました。  
あとから 何人か きたら、ぜんいんで 21人に なりました。  
あとから きたのは 何人でしょうか。

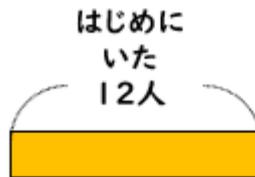
図をつかって、□のしきを つくる

まず、この文を 図で あらわしてみるよ。  
この文の 「わからない数」 はなにかというと、  
「あとから きた人数」がわからないよね。

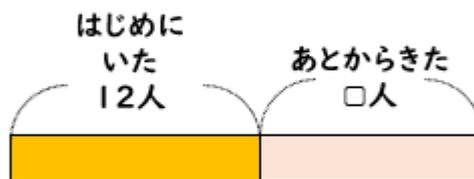


この、「わからない数」である「あとからきた人数」を「□人」にしたよ。

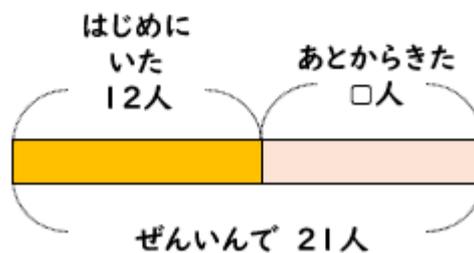
公園で 12人が あそんでいました。



あとから 何人か きたので



ぜんいんで 21人になりました。



いちばん下の図に ちゅうもくしよう。

「はじめにいた 12人」と「あとからきた □人」をたした数が「ぜんいんの 21人」だね。

□をつかった しきを 作ると つぎのようになるよ。

$$12 + \square = 21$$



□の数をもとめる

$12 + \square = 21$ ということは、

「12に □を たすと 21 になる」よね。

□に入る 数をもとめるには、  
21から 12を ひけばいいから、  
 $21 - 12 = 9$

□は9だとわかるね。

答え：9人

14mの リボンが ありました。

何mか つかったら、

のこりは 4m になりました。

何mの リボンを つかったでしょうか。

図をつかって、□のしきをつくる

まず、この文を 図で あらわしてみるよ。

この文の 「わからない数」 は、

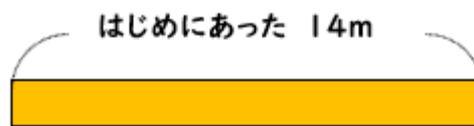
「つかった リボンの 長さ」がわからないよね。

この、「わからない数」である 「つかった リボンの 長さ」を

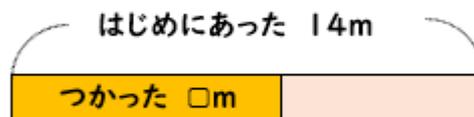
「□m」にしたよ。



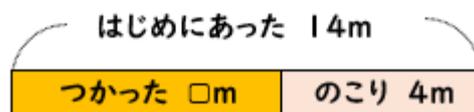
14mの リボンが ありました。



何mか つかったら、



のこりは 4mに なりました。



いちばん下の図に ちゅうもくしよう。

「はじめにあった 14m」から「つかった □m」をひいた数ら「のこり 4m」になるね。

□を つかった しきを 作ると つぎのようになるよ。

$$14 - 4 = \square$$

□の数をもとめる

14 - 4 = □ということは、

「14から 4を ひいたら □になる」から

$$14 - 4 = 10$$



□は10だとわかるね。

答え：10m

## 図をつかったたし算とひき算のまとめ

### 図をつかったたし算とひき算

- ・ わからない数を □として、図であらわす。
- ・ 図であらわしたら、□をつかったしきであらわす。
- ・ □をもとめるために、たし算をするか、ひき算をするかは、図やしきを見て考える。

